

沖縄から日米安保を問う！屋良朝博さん講演集会のご案内

6月2日、鳩山政権は突如崩壊し、8日に管内閣が発足しました。鳩山首相の辞任の最大の理由が「普天間」にあったことは明らか。とすれば、菅新政権がまずなすべきことは、沖縄の民意よりも連立政権の合意よりも米国の意向を優先させた5月28日の日米共同声明―「新日米合意」を白紙に戻すことであり、「普天間は国外、最低でも県外」とした公約に立ち返り、再度対米交渉を行うことです。しかし菅新首相は、鳩山首相と共に責任を負うべき岡田外相や北澤防衛相、前原沖縄担当相を再任し、「基本的に日米合意を踏まえる」と宣言。国会は参議院選挙モードに突入し、ヤマトのマスコミからは「普天間」「辺野古」の文字は忽然と消えうせました。

しかし、「失望はするが絶望している余裕はない」（6.3 東京中野集会での高里鈴代さんの発言）。普天間基地の即時無条件閉鎖、辺野古・高江の新基地建設計画撤回を求める闘いは続きます。改定安保50年の節目の年に、日米両政府は11月横浜APECで予定されている日米首脳会談で「日米同盟の深化」を謳いあげようとしています。日米軍事再編に抗し、沖縄に軍事植民地状況を強制し続ける、その根源にある日米安保体制を揺るがす闘いをどうつくるのか、ヤマトの反戦・反基地運動に問われ続けています。

沖縄講座では、沖縄タイムス論説委員の屋良朝博さんを横浜にお招きし、下記の通り講演集会を開催し、秋の闘いに向けた第一歩としたいと思います。屋良さんは「沖縄問題が改善されないのも安保をめぐる政治の不作為」「何が何でも沖縄に米軍基地を配置すべきだ、という日米同盟の既成概念はまるで“天動説”のように教条的である」（『砂上の同盟』）と喝破しています。

沖縄の闘いに心を寄せる全てのみなさんに7.28横浜集会への参加を呼びかけます。

日時 2010年7月28日（水）18時半から

会場 かながわ県民サポートセンター3階301号

内容 DVD「やんばるからのメッセージ～高江の記録」（10分）上映

講演「砂上の同盟～普天間の行方」

講師 屋良 朝博さん・・・1962年沖縄・北谷町生まれ。沖縄タイムス論説&編集委員。『砂上の同盟―米軍再編が明かすウソ』で第15回平和協同ジャーナリスト基金奨励賞受賞。沖縄海兵隊グアム移転の理由を知る為に07年7月から1年間ハワイ東西センターに客員研究員として留学。関係者の証言を通して、「沖縄の地理的優位性」「抑止力」論議のウソを暴き、沖縄に米軍基地が集中する本当の理由を明らかにする。

資料代 500円

主催 沖縄の自立解放闘争に連帯し、反安保を闘う連続講座（略称・沖縄講座）

賛同 多くの賛同団体・個人を募ります。個人1000円/□ 団体3000円/□